

■ お別れの祈り

イエス様が十字架につけられる前日の夜でした。イエス様は3年間、弟子たちと過ごしながらか、神のみことばを教え、天の御国を証して来ました。ところが、この夜が明けるとイエス様は弟子たちと別れなくてはなりません。

イエス様に差し迫っている十字架の苦難について、弟子たちはまだ分かっていません。

世に残される弟子たちのために、イエス様は祈りをささげました。

■ メッセージのポイント

(1) イエス様と弟子たちの関係について、イエス様は父を中心とした関係を考えました。

イエス様は弟子たちのことについて「父が与えてくださった」と言いました。イエス様と弟子たちの関係は、父を介して結ばれていたのです。

(2) イエス様は世のためにではなく、弟子たちのために祈りました。

世を救うためのイエス様の方法は、弟子たちを通して世界中に福音を伝えることでした。

そのために、イエス様は弟子たちをみことばで養い、彼らを守り、世に遣わしたのです。

イエス様がよみがえった後、弟子たちはイエス様のために一生涯を捧げました。

(3) 弟子たちが主にあって一つになることを祈りました。

弟子たちが一つになって世に存在する場所、そこに神の御国と支配が実現します。

そして、イエス・キリストの福音が示され、喜びが満ちあふれます。